

# めだかの学校だより

令和3年2月1日  
第111号  
学舎：周智郡森町一宮  
「一宮総合センター」  
事務局：静岡県豊田市  
家田 529-20  
TEL:0539-62-6691

## 校長訓話

第一一回 校長 村田 徳治

先日の職員会議で、「第111回めだかの学校」は、コロナ禍のため休校にすることになりました。職員会議に集まった全員、本当に残念な思いでした。みんな顔合わせ、おしゃべりをして、近況を伝え合う、それがめだかの学校へ行く楽しみなのに。そして、仲間のそれぞれの活躍に励まされ、気持ちを新たにできる、そんなめだかの学校が休みなんて、つまんない。ですが、国内で緊急事態宣言の状況下では、子どものように駄々をこねても、仕方がないことです。

新型コロナウイルスの感染者が日本ですべて確認されてから今日（1月15日）で、丁度一年。去年の今頃は、だれも今のコロナ禍の状況を予想していなかったでしょう。

めだかの仲間、それぞれのミッションを胸に、それぞれの地域で活動をされていると思いますが、「地域づくり、人づくり、自分づくり」で大切なことは「人と会う」こと。そして、

人（他者）を見て、教えられることがすごく大きく、何をするにしても、たくさんの人に集まってもらいたいと願います。それが、このコロナ下では、「密・会食を避けよ」と、集まるのがままならない。でも、できることをするしかありません。

昨年三月の下旬、七年間毎月1回、インターネットで生配信してきた「遠州WebTV」の放送を終了しました。丁度、コロナの感染が拡大し始めた頃でした。世間ではその後、テレワークなどでのリモート会議や、SNS、YouTubeでの動画配信などが急激に普及し、スマホを中心に、インターネットでの表現・情報発信の環境・状況が大きく変わってきています。常時パソコンに向かって仕事をし、片時もスマホを手放さない人も増え、著休みのようにYahooニュースやフェイスブックを見て息抜きする、そういう生活スタイルも一般化しています。

先の職員会議の時、私はつい口を滑らせて、「めだかの学校のホームページを更新して、休校中に、学校に行け

なくてもめだか生同志おしゃべりして、情報交換ができたらいいでですね」と、言ってしまいました。

めだかの学校のホームページは、2018年6月の「建学25年、第100回記念同窓会」の時に開設したのですが、100回の時の写真をスライドで載せただけで、その後更新していません。

ホームページに、新しい話題を載せていくには、みなさんの協力が無ければできないことなのですが、ホームページをとおしてめだか生が交流できるようにするには、どのようにしていったらよいか、バラさんと相談してみたいと思います。アイデアをお寄せください。

めだか生が、手元のスマホから書き込みができる『ブログ』形式のものがいいかな、と思っっていますが、いかがでしょうか。

※「おもしろ人立めだかの学校」ホームページはスマホでもご覧いただけます。

<https://medakanogakkou.org>



## めだかの学校伝言板

第111回めだかの学校は新型コロナの関係で休校します。

校長／村田徳治

教頭／加藤ひとみ

用務員／村松康博

※『宿題』提出課題は「ご自由にお書きください」

50文字以内（タイトルも含む）

同封のハガキに横書きで。3月15日(月)までに。

事務局あて郵送して下さい。全員必です。

ひと言コメントをつけて。

<学舎>静岡県周智郡森町一宮「一宮総合センター」

TEL：0538-89-7730（開校日のみ）

開校日／令和3年3月6日（土）AM 11：00～

28期通年テーマ：『WITH 新時代 右手に知恵を！

左手に夢を！～前を向いて歩こう～』

今回のテーマ：「このようなときには便りを出そう…」

<時間割>

新型コロナウイルスの感染がいつこうに衰えず、拡大していることもあって【休校】としました。

# めだかの動き

## 泳ぎ回るめだかたち

### ■「茶畑の土の音が聞こえて来た」!

昨年の1月4日、私は裏山で滑落し背骨を骨折3ヶ月の入院「人生を考える」時間を与えられました。私は自然農法に興味があり40年程、茶畑の一部を無農薬で栽培してきましたが、2年前に屋敷付きの傾斜茶園が50アール乗用の機械が入らない理由で返されてきました。私には茶農家の様な近代農法は出来ませんので、地域の皆さんの助けを借りて自然農法で茶畑を維持してきました。

昨年の秋、茶畑に不思議なことが起きました。畑に堆肥を投入し、山草を敷いていたと「茶畑の喜んでる声」が聞こえてきました。掃除の師匠、鍵山相談役と奇跡のリンゴ木秋則さんの対談本で「鍵山さんは私の畑の土は山の臭いがしたと仰ってくれましたが、場所を定めたとき、山の木の下で、山の土の匂いを直感的に『土だ』と感じたのです」…私は農業見習い中ですが、やっと茶畑の土の音が少し聞こえるようになりました。

〈年賀状より抜粋。榊原淑友メダカ〉

### ■災害時の自転車活用は…社会実験!

浜松、湖西両市で、11・12月に実施した災害時に自転車で支援助物資を運ぶ計3回の社会実験の企画運営の中心的役割を果たしたのは、実験を主催した浜名湖サイクルツーリズム災害連携社会実験協議会の事務局NPO法人地域づくりサポーターネット代表理事の掛川市の山内秀彦元メダカ。

「地震などで主要な道路が寸断された場合に、支援助物資を在宅避難者に届ける輸送手段として自転車を活用する検証。運べる物資の量は少なかったが、生活道路のなかには自転車を通りづらい狭い場所もあり、小回りの利く自転車の有効性を確認できたが、ボランティアセンターのように支援人材の調整役になる仕組みがないと災害時に機能しない」と。静岡新聞朝刊『この人』で紹介された記事から抜粋。めだかの学校の創生時で『引佐町の地域づくりをどうしようか』と話し合いの段階時に積極的に関わってくれた。

今は「めだかの学校」とは浜名湖環境ネットワークで繋がっていますヨ。

(バラメダカ)

### ■「かがり火」今年の8月200号で休刊!

東京の「かがり火」発行人の菅原歎一メダカから、以下のような手紙が届きました。静岡県で変異株のコロナウイルスが発見されたとか、ますます不気味な世の中になってきましたね。東京はタイヘンです。「かがり火」の取材で伺いたいと言っと、「来ないでくれ!」と断られるケースもあり、いまや東京の人間は嫌われものです。今日は報告があつてお手紙を差し上げます。「かがり火」は今年の8月で200号となります。これを区切りとして休刊することを決断しました。休刊を決断した理由は、

小生の年齢、昨年の入院などいろいろあるので、



「自治体3・0のまちづくりを進める、小柴雅史生駒市長」  
シャープ 松本亮

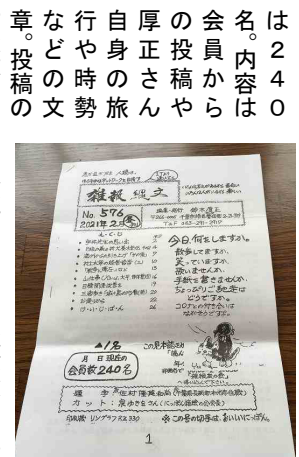
定期刊行物という性格にもあります。前払いで購読料をいただいているのでエンドレスで発行を続けなければいけない性質があつて、年々、精神的・肉体的負担が大きくなる一方なのです。万が一、小生が心筋梗塞にでもなれば皆様に多大な迷惑をかけることとなります。頭も体もしっかりしている今のうちに、一応の決着をつけておくことが最善と考えるに至りました。

1987年創刊、今年で34年目になります。少数で無名の雑誌がここまで続いたのは榊原さんをはじめ、「めだかの学校」の優しい生徒さんがいてくれたおかげです。本当に長い間お世話になりました。あらためて深く深く感謝申し上げます。「かがり火」は、熱心な読者が多いので休刊を発表するとどんなアクションが起きるかこわい気もするのですが、いつか決断しなければならぬことです。それは「今でしょ!」と考えました。(略)

いつかこのようなことがあるのではと思つていたのですが、決断したのですね。理解できます。でも菅原さんが今までに培ってきた人的ネットワーク、めだかの学校の仲間もその一員です。これからも離れることなく続いていくでしょうね。いつか「めだかの学校」も決断しなければならぬ時がくるでしょうね、きつと。今は「その時はその時だ!」と…。これからもよろしくお願ひします。(バラメダカ)

### ■もうひとつの「急ぎ過ぎだよ人類は。ゆるやかなネットワークを目指す、ITより逢いてエ」雑報 縄文」

いや〜こちらの編集、発行人の千葉市の鈴木厚正さん。令和元年9月7日(土)8日(日)小國神社で開催の第105回めだかの学校期初授業のパネラーのひとり。そのとき83歳、今は…。さて『雑報 縄文』はA4 26頁で毎月発行されている。会員



は240名。内容は会員からの投稿や厚正さん自身の旅行や時勢などの文章。投稿の方はパソコンで、厚正さんの文章は全て手書きである。送られてきた手紙やハガキにはそれぞれコメントもつけて…。印刷はリソグラフRZ330の印刷機でA4表裏で13枚、それをホットキスで綴じて、3つ折りで封筒へ。切手は記念切手。というこだわり。写真の表紙にあるもくじの山仕事(1月13日〜16日、大平倒木整理)は、磐田市大平の鈴木正士メダカの猫の手クラブの内容。千葉市から電車に乗って2泊3日、会費3000円。交通費は自腹。これを20数年も猫の手クラブの仲間とつづけている。すごい一言につける。めだか生の皆さん、会員になって読んでみませんか。見本誌もありますので「ご連絡を。」

『かがり火』菅原歎一メダカと『雑報 縄文』の鈴木厚正さん、ともに強い信念と個性が光っている。真似したくても真似ができない、その強さはなんだろう…。翻つて「めだかの学校」は?と思わずにはいられない。誰です?200回までやるのですよ!というのはい…。ああしんどでございませうば…。ハイ!。(バラメダカ)

### 『人・ひと・ヒト…だより』

2021年もたくさんさんの年賀状やあいさつ状をいただきました。その中から、ぬきだして「人・ひと・ヒト…だより」に載せさせていただきます。割愛や蛇足お許しください。



●藤枝市の小嶋良之メダカ。21年の望年  
状の言霊メッセージは学生時代に出会っ  
た社会教育家、森信三の「人生二度なし」  
です。この題名の書籍に出会ったのは大学  
時代。著者の森信三は哲学者であり教育者  
で知られていた。森は「人生二度なし」の  
真理を根本信条とし、「宇宙の哲理と人間  
の生き方を探求する学問」である全一学を  
提唱。森の「人生二度なし」と「真理は現  
実のただ中にあり」の二語は、その後の40  
年間、今も私の生き方の土台となっている  
だって。

●浜松市の山下智之メダカ。「するがなる  
ふじの高ねはいかづちのおとする雲のう  
えにこそあれ」賀茂真淵。(駿河の国のそ  
びえる富士の高嶺は雷鳴とどろき稲妻が  
走る黒雲の上にそびえたつすばらしい山  
であることよ)。…この歌が唱歌「ふじの  
山」につながりました。だって。昨年12月  
からオイスカ静岡支部(オイスカ高校敷  
地内)に勤務することになった。近くに來  
た時はお立ち寄りください、と。

●愛知県長久手市の横田浩臣メダカ。数え  
年で80歳になりました。それなりに健康  
で過ごしています。と言うものの昨年は  
原因不明で2ヶ月不調でした。20年ほど  
前に友人から「人は生きてきたようにしか  
死ねない」とつぶやかれたことがあります。  
今になって、こんなことかなと思うところ  
あり。昨年は里山つくりと趣味の仏像、仏

教に専念できました。下は、タクラマカン  
砂漠の帝・ホータン王国の遺跡から出た壁  
画「西域のモナリザ」です。上は法隆寺金  
堂壁画の如来像です。似てませんか、だっ  
て。



●飯田市の長谷部三弘メダカ。「色即是空  
空即是色 受相行識 亦復如是」く写経で  
癒されています。ことしはメダカの学校に  
入学したいです。健康第一、「ご精進を!  
だって。毎月B4の手書きの「ひさかた風  
土舎」の会報を発行。地域づくりにおける  
情熱は88歳になった今も衰えることはな  
い。凄〜い!」

●千葉県習志野市の市原実メダカ。202  
1年の幕開けです。実はくじ付き年賀はが  
きの景品が変化しています。☆1950  
(昭和25年)初の景品つき年賀はがきの  
発売(ただし寄付金のみ対象)。特等ミシ  
ン、1等純毛服地、2等学童用グローブ、  
3等学童用こうもり傘、4等はがき入れ、  
5等便せん、6等記念シート。☆1956  
(昭和31年)。特等電気洗濯機。(この年  
まで寄付金付きが該当していた)。☆昭和  
33年特等タンス☆昭和36年ステレオ☆昭  
和38年8ミリカメラ☆昭和40年ポータブ  
ルテレビ…電子卓上計算機、ラジカセ  
コンパクトカメラ、カラーテレビ、電子レ  
ンジ、ビデオテープレコーダーに変化し、  
☆1987(昭和62年)特等がなくなり、  
1等、2等となり、選択方法に。1等ワイ  
ドカラーテレビかMPコンポ、乾燥機付洗

濯機、2等見えるラジオ、コンパクトカメ  
ラetc。☆2015(平成27年)1等  
現金10万円。☆2019年(平成31年)  
現金30万円、同額相当のプレミアム商品。  
2020(令和2年)特等は開会式か閉会  
式旅行付き招待とオリンピック関連。☆2  
021(令和3年)1等現金30万円か電  
子マネー31万円。年賀はがきにもこんな  
変遷があったんだ。ちなみに、今年の私は  
記念切手シート6枚でした。ハイ。

●北海道オホーツク佐呂間町の船木耕二  
さん。いつもと違う一年。息を潜めた一年。  
出かけることもなく、人と会うこともなく  
「止水」のようにじっと淀んでいた一年。  
古びた郵便受けに入っている一枚の葉書、  
嬉しくて飛び上がる。行間から伝わってく  
る肌温、見慣れた字体から聞こえてくる送  
り人の言葉。ピンポンの音と一緒に玄関に  
届く荷物。誰からかと宛名をみる。開けた  
時に拡がるその地の匂い、見えてくる送り  
人の笑顔。都度、喜びの瞬間がありました。  
優しい時間がありました。その一つ一つの  
有りがたさを切々と感じていきます。優しさ  
を頂きました。優しい一年でした。古希を  
迎えました。(略) 最初に最後の古希、貴  
重な気づきの一年でした。2000年の暮  
れに送り始めた年末状。20世紀最後の年、  
お世話になった人への世紀末状でした。そ  
れから20年、よくぞ続けてこれたと自分  
ながら感じています。だって。このよう  
なご時勢、いただく一枚の葉書、友人、知  
人、メダカ生からの便り、嬉しいねえ。め  
だかの学校便りに載せたくありませんヨ。

●豊田市足助町菓子舗「両国屋」の佐久間  
章郎さん。全国まちづくり交流会のまとめ  
役。三蜜。蜜。と去年から人との交わりは  
なるべく少なく、大人数での飲食は自粛し  
て下さいとの要請。今後のまちづくり交流  
会のあり方について皆さんとじっくりと

考えていかなければいけない年になりま  
した。だって。「大人数でのお酒を伴う宴  
会、仲間たちの濃厚接触、一部屋での多数  
の宿泊等」それこそ全国まちづくり交流  
会の根幹が全てダメでは悩みますね。でも  
前向きに、時を経て事は進む…ですよね。  
●浜松市引佐町の石野省三メダカ。コロナ  
後の社会を前より良い社会にするために、  
皆で協調し、勇気と知恵で立ち向かう姿勢  
を示していきたい、だって。そうだ、そう  
だ。いけいけどんどん、メダカ流。ナ〜ン  
チャツテ。

●長野県天龍村の関京子メダカ。コロナに  
クルナ!と言いつつ子や孫にも会えない  
一年でした。でも、もつと大変な職も家も  
無い人達がいる事、大切な各地でのイベン  
ト祭りも中止、今までの歴史上にもなかつ  
た事、早く先の見える、皆さんにお会いで  
きる日を望みます。いつも感謝です、だっ  
て。いや〜大イノシシの京子さん、ひとり  
元気で山の中で頑張ってる、嬉しいです  
ねえ〜。我が家のチビイノシシも元気です  
ヨ。

●浜松市の水村春江メダカ。「日記買う去  
年の余白をそのままに」「よき友を持てる  
幸せ福寿草」俳句2句に。「すべてに感謝!  
お元気で泳いで下さい!メダカの大將殿」  
だって。ライオンズクラブ334-C地区  
IR-ZC4人衆(2019-2020)  
の写真と桂由美先生とツーショットの写  
真と共に。

●静岡市の池田恵一メダカ。コロナ禍、  
世の中、仕事のやり方や大学の講義、飲み  
会、スポーツ、文化など全ての当たり前が  
変わりました。猛暑や大雨など異常気象も  
含め、現代の文明社会をあざ笑っているか  
のよう。昨年「静岡市文化・クリエイイ  
ティブ産業振興センター(CCC)」に勤務  
し、デザイナーやアーティストを支援して

いる。週CCC3日、静岡大学が3日、歳を重ねると遊びも含めて「今日用(教養)」と「今日行(教育)」が大事な、だって。

●周智郡森町の村松達雄メダカ。昨年3月で森町役場を退職となり、4月からは森町総合体育館に勤務。鈴木藤三郎の創立した元周智農林学校ゆかりの地で仕事ができること、「縁を感じている。最近、農協の前身と考えられる帝国農家一致協会という全国組織がこの場所でも活動していたことも分かり、興味深いところです。これからも引き続き郷土の伝統や文化を大切にしていって、だって。まさに村松藤三郎さんだねえ、と。

●静岡市の西島朋子メダカ。2020年はコロナに明け、コロナに暮れた年でした。全ての活動を中止し、ひたすらにわか畑仕事に専念した日々。そのあと異なる3局のTVに出演したり、ユーチューブデビューも果たしたりして実りある経験も。食に関しては発酵、乾物等をキーワードに、更に学び、今年の自分に期待してWithコロナで前向きに生活したい、だって。

●富士市の柚木恵美子メダカ。昨年11月全国社会教育委員連合会より、富士川っ子会の事業をはじめ、富士市社会教育委員会議委員長など、仲間とともに活動できた実績が認められて表彰された、と。大切な方が亡くなれば、寂しい気持ちでいっぱいになります。でも、前を向いて力強く一歩と気合を入れていきます、だって。相変わらず頑張ってるなア、凄い。

●磐田市の大久保陽メダカ。オープンガーデンを始めて早や20年経過。昨年6月にはSBS静岡放送がガーデンを約5分放映してくれた、と。今は男声コーラスの練習も滞り、地域の催しもお休みでコロナ太り。大工仕事をしたり、大木の剪定をしたりしている。ティ子奥さまとガーデンの手

入れを頑張っている、だって。あじさいの時季最高だよ、あと半年、待っててね。

●磐田市の井上啓子メダカ。浜松市でoffice INOUEをやっている。毎月手書きの健康の「ミニ情報」を発行している。1月号は、チンゲン菜と鶏むね肉(皮なし)を使った「チンゲンサイと鶏むね肉のとりみ煮、わさび風味」。チンゲンサイは老化、高血圧、生活習慣病予防、活性酸素の働きを抑制など、貧血や便秘予防にもいい、だって。免疫力を高めるには笑顔がいい。笑いや笑顔には、ナチュラルキラー細胞という免疫細胞を活性化させる6つの効果がある。①免疫力がアップする。②最強のエイジングケアになる。③表情筋が刺激を受け、ポジティブな気持ちになる。④コミュニケーションがスムーズになる。⑤笑顔は周りに伝染する。⑥幸福度がアップする。ー毎朝5秒、鏡の前で「こり微笑みましょう!と。どう、簡単ですよね。それに加えて舌ペラを、ペロペロペロ、脳の活性化も間違いないですよ!ハイ。

●掛川市の杉浦清司元メダカ。辛丑(かのとうし)。牛は古くから農業や酪農など、人々を助けてきた生き物で、大変な作業も地道に最後まで手伝ってくれました。その事から丑年の特徴は「粘り強さと誠実」。本年は新型コロナウイルスという疫病が収まり、穏やかな年になりますよう、そして多くの人が親切とありがとうの種を蒔き、幸せの果実を実らせましょう、だって。清ちゃんまた「めだかの学校」へ出て来て、農業者としての一家言を述べてヨ!待ってるヨー。

●浜松市の古橋利雄メダカ。世界中がコロナの恐怖に慄いておられます。「何んとかせにやーならんと焦っても何んともならん時期があるが、やがてなんとかなるもんだ」と過酷な時代を生き抜いて来た先人の

教訓。それに比べれば屁みたいなもの。元気なうちに遠方の友にも会いたいのものです。…コロナより恐れていた後期高齢者乗り合いバスが迎える年になりました、だって。大丈夫、だいじょうぶ、アハハハハ、なんとかなってるもんナラ、屁みたいなもんだ!ブー。と先輩メダカ。ちよつとオナラはいらないんだけどー。

●新城市の清水良文メダカ。新城市役所を定年退職して5年。高齢者になりました。昨年はコロナの影響で様々な活動が制限されましたが、仕事は幸いその影響は全く新城市自然エネルギー(株)及び新設した奥三河グリーンエナジー(株)役員として自然エネルギーの普及、推進に努めている。奥三河ビジョンフォーラムの事務局長& 研究員・愛知大学地域政策非常勤講師も4年過ぎた。趣味のリコーダー合奏グループ、熱気球、合唱劇「カネット」、和太鼓「志多ら」、NPO「てほへ」など、多くの行事が中止やかろうじてできた。今年にはコロナがなくなり、活動が再開できるのを願っている、だって。めだかの学校、なかなか行けなくてすみません、と。いやー、それにしてもがんばってるねえ。

●周智郡森町の天野智加志メダカ。寒い日がつづきます。感染症も収束が見通せません。早く「めだかの学校」が開校できるよ祈ります、と。1月7日今年の田打ち初めの写真と俳句「稲の花(農を詠む)天野慧舟、5句を添えて。「握る手も鋤く音も清し田打ち」「早苗饗(さなぶ)や絹の雨降る露天の湯」「待ちびし波打ついのち稲の花」「稲架(はぎ)の城築けば夕陽は傾きぬ」「糶田(ひつじだ)は土にかへりて眠りをり」。お、ツ、やるねえ。私も一句。「風花やシダが手をふる散歩道」。

●島田市の池谷俊裕メダカ。目に見えない厄介者のせいで世界中が大混乱!。去年の

正月、まさかこの1年がこんなことになるうとは夢にも。世の中、何がおこるか分からない!。だからこそやりたいことがあるれば迷わずやればよいのです。よおし、今年はやるぞオス!。何を!?…内緒、だって。

●袋井市の松本芳廣メダカ。実兄や県に入ってから退職後も公私ともにお世話になった先輩と20年ほどサトウキビ栽培などを共にしてきた友人も逝ってしまいました。今は草刈りボランティアや家庭菜園など忙しい毎日を過ごしています、だって。いつか誰も通る道なのに本当にさびしいものです。

●掛川市の鳥山剛メダカ。川根小学校・大日本報徳社などに蝶のアサギマダラの大好きなふじばかまを提供するように準備しています、だって。昨年は我が家にもアサギマダラが飛来してきました。きれいでしたよ。

●磐田市の多田華メダカ。「無沙汰いたしております。3月出産予定になりました。どんな時もバラさんみたいに前向きに励みたいと思います。またお会いできる日を楽しみに、だって。嬉しいね!。楽しみだね。赤ちゃんつれて「めだかの学校」に登校したりして。大丈夫、子育て支援の富田久美子先生がいます。その幼稚園、昨年8月、10人の子どもたちが生まれたんだって。「がんばるママ応援中!!」と。

●磐田市の富田久美子メダカ。バラさんとあけみさんおふたりが家田にいらっしやるだけで、私たち夫婦はうれいす。会いたいときに会えるっていいね、だって。富田夫妻、私たちの近くの岩室に百年以上の古民家をセカンドハウスに週末を利用して来ては、時々私のところに寄っては安否確認してくれている。嬉しいね、感謝感謝です。

●磐田市の小山展弘メダカ。昨年小國神社にて挙式致しました。まだまだ未熟者の二人でございますので、ご指導ご鞭撻の程よろしく願います。だって。紅葉に彩られた赤い橋の上で花嫁衣装の奥さまと、袴姿のおムコさん、いや、にやけてる、いや、いい顔しています。いつもアドバイス、励ましのお言葉ありがとうございます。めだかの学校、もっと早く入ればよかったです、とも。ヨイシヨット。(笑)

●袋井市の竹野昇メダカ。昨年度は毎年行っている韓国訪問がかわらず、沖繩辺野古も2回しか行けませんでした。今年の私の課題は4月袋井市議選2期目を目ざし当選できれば1期目の経験を活かして市民のために自分にできることを努力するだけです。年齢の関係で3期目はありません。「竹ちゃん市政便り」を16号まで発行し、市民から色々相談や依頼・注文が増えてきました、だって。2人のお孫さんの優しいおじいさんでもあります。ハイ。

●袋井市の大場敬子メダカ。昨年は世界中が中国に振り回された1年でした。世界情勢は混沌を極めていきます。コロナウイルスは中国武漢発の人工生物兵器です。中国によるチベット、ウイグル、内モンゴル、香港を弾圧する人権蹂躪も見過ごせません。今年世界が一丸となって中国と向き合わなければ、だって。中国に語学留学していただけて鋭いなア。昨年はめだかも休校だったり寂しかったです。今年はどうなるか？、一人一人の行動にかかっていると思います。コロナなど気にせず、今年メダカやって下さいね、とも。

●浜松市の「手創り工房 和の森」の藤田吉恭メダカ。コロナにだいぶやられてます(売上)が、生きてます。(笑)、だって。家具の修理もやっています。古い家具も新品同様にしますぞ！、声をかけてみたら、

ハイ。

●掛川市の横山忠志メダカ。新型コロナなどで散々な1年でしたが、その分活動エネルギーは溜まっています。セカンドライフ1年目、県立横須賀高校で技能員やってます!!。今年例年以上にガンバリます、だって。武ちゃんが抜けたあとの遠州横須賀倶楽部、頼りにしてまっせ。

●磐田市の伊藤英雄メダカ。年始は日の出前からホテル暮らしの8日間。先生曰く「美女達に世話され良かったですね」とは羨ましいね(怒られるかな?)。マスク・マスクで見分けが付きません、それは残念でした(笑)。

●埼玉県草加市の藤田久枝メダカ。なかなか浜松に行けないまま1年が過ぎてしまいました。潤吉さん(故藤田潤吉メダカ)が遠くに旅立ってから5年が経ち、月日の早さにビックリです。タケちゃんも居ないなんて寂しいです。安心して皆さんと逢える日が早く来ますように!、だって。「雄踏花蝶ちゃん」アコーデオン奏者の潤吉さんの娘さんが仲間と一緒に頑張っている記事が静岡新聞夕刊で大きく掲載されていましたヨ。

●千葉県松戸市の滝川徹メダカ。コロナでうとうとしい昨年でしたが、今年は落ち着いたすっきり青空のような年になりますように。人のつながりの大切さを改めて感じさせられました。楽しく集い、遊び、有意義な年にしたい、だって。また会いたいねえ、元気で!ですヨね。

●掛川市の永野貴嗣メダカ。早いもので地元Uターン、転職してから5年が経ちました。今年も仕事に打ち込み、武道と政治活動を続けていこうと思います、だって。地元Uターン嬉しいね。もともとも多くの若者が来てくれると良いね。おかえりなさい!ナンチャット。

●埼玉県北本市の西村一孝さん。磐田市は「かがり火」の支局長が面白くなる年になりそうですね。北本市もおもしろいですヨ!西村さん、かがり火の原宿表参道(十北本市)の支局長。原宿や六本木ヒルズ周辺に、アートを中心とした文化都市づくりや、地元北本市で人と人、人とまちを結んで開いて「地域社会を元気にする、むすんでひらいて」研究所所長。「かがり火」の応援団長?

●岐阜県中津川市の小林佳代メダカ。寒いですがねえ。でも元気です!今度「地域おこし協力隊」として長野県北安曇野郡松川村へ、4月1日から英語講師で着任します。なので3月に引越します!。新住所などは追って連絡します。どんな時も明るい太陽のように笑顔は忘れずに、ニコニコと楽しいクラスになるように、めいっばい遊びます!。人生は一生きり、楽しんでもん勝ち!、だって。協力隊受け入れてくれるとこあつて良かったね(笑)。きつと楽しいクラスになるんだろね。アイ アム ア ペン:違つか?だよね。

●浜松市の中村やす代メダカ。「うし」の絵と花柄を書いて:力を入れすぎず、前を向いて歩く。今年は何んな年?いろいろあるからおもしろい!。だって。歌が大好きな昔のお嬢さん?メダカの学校に「おもしろ人立合唱団」作るのもいいかも。大久保陽メダカや埋田千聡メダカ・西川裕子メダカ・若尾和孝メダカ・ちよつと異質なまぢよしろメダカも居るしね。

●遠州は森町の田邊哲メダカ。50年連続の富士登山挑戦も33年目で途切れしました。コロナも懸命なんでしょうが、そろそろぼつちぼつちやってくるれないと困ります。今年こそ富士登山は7月18日(日)〜20日(火)です。(一泊コースもあります)だって。富士山の上でハハハハハ大王ヨ!

やったら?。ダメ?それなら合唱団でやろヨ、どう?

●滋賀県栗東市の太田宣子メダカ。静岡へは毎年ハガキ愛好者の集まりが島田市の山の家であつて。でも昨年はコロナで中止となり、今年こそ期待しています。メダカの学校、面白い人ばかりですね!だって。いや、出席して対面できれば、ありやりに多量かも(笑)

●神奈川県秦野市の永田和子さん。うしさんのフルートの音にのせて: お元気でですか?外出しなくて体調を崩す方が多いです。お体大切に!。だって。北海道蘭越町で開催された全国まちづくり交流会の時、札幌空港で水島加寿代メダカと、鈴木正士メダカ、バラメダカ、いや、お世話になりました。バタバタだったが楽しかったね。焦ったけど(笑)

●磐田市の山下安範メダカ。昨年はGOTトラベルを利用して四国88カ所お遍路の旅をしました、だって。コロナ感染が減り、普通の日常生活が取り戻せるよう願うばかりです:と。

●浜松市の鈴木亜繪美メダカ。昨年に磐田市池田宿の旧邸を処分し、新しい土地へ移り、新たな出発をした、と。先祖から受け継いだ想いを大切に、温故知新、そして心機一転、次へと展開していきたい、だって。コロナ禍の中にも、きつと新しい世界が開けてくる!きつと。楽しみにしています、又会えるのを:。

●浜松市浜北区の奥野教生メダカ。筆で1文字「拓」。この1文字にどんな思いが込められているのか、あなたはどのように感じますか?

●浜松市細江町の上嶋裕志メダカ。姫街道物語のかわいい姫様道中の絵と共に:。心配をかけましたが元気にやっています。今民生委員です、だって。そう、病を友とし

てーの年頃ですぞ！ 無理は禁物ですヨ。でも歩くことは大切ですよ。1日5000歩はね。

●浜松市の池田誠二郎メダカ。笑門来福。笑と福は赤色で。笑顔でコロナストレスを追い出し、福を招き入れる丑年となります。よう心よりお祈りいたします。だって。お褒りありませんか、お会いしたいですね！とも。

●浜松市の藤波公子メダカ。めだかの学校だより一筆に込められました御言葉にいつも励まされ感謝しています。だって。ひとりとりの皆さんの顔をみながら書くのは大変だけれど、楽しみでもありますヨ、ハイ。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。近頃、朝起きると不整脈が：10拍で一回飛ぶと、ゼイゼイクラクラの息苦しさを：。認めたくは無けれど加齢のなせる技と：。次回は前向きに頑張りませう。山の神様には誠に申し訳なく崇り無き様クワバラサカキバラ！！。折を見て清水港のマグロ丼を：、だつて。アツハハハ、神様喜んで。マグロ丼いいね。次回のめだかの学校「休校です」。頑張つて宿題出してね、と。

●磐田市の大島たまメダカ。昨年はコロナで暇になるかと思いきや、増々忙しい事に！

奇しくも9月にタケちゃんに続いて最愛の父親までもが旅立ってしまった、この喪失感が埋まらないままです。今年にはコロナも収まって早く羽ばたきたい！って強く願っています。ちょっとお知らせ。数年前から新居町の仲間と起ち上げた「中根庭園を研究する会」で中根金作の本を出版。今年には中根金作の息子史郎さんの講演会を企画中です。

●浜松市水窪町原邦司メダカ。今年には喜寿になります。人生の一区切りとして、本

年をもちまして皆様への年始のご挨拶を控えさせていただきます。長年にわたり温かい賀状ありがとうございます。だつて。そうだね。そういう人が多くなったね。2年ほど前は私のところに250枚の年賀状がきていたが今年は150枚ちょっとかなア。私は訳あって寒中見舞いにしたけれど、それでも年賀状を楽しみに待っている自分がある。(笑)

●藤枝市の横山貴代美さん(故横山浩史メダカの奥様)。寒中お見舞い申し上げます。ご無沙汰しております。お変わりなくお過ごしでございますか。昨年からの世の中が大きく変化し、目に見えない恐怖を感じる日々です。もう一度自分の姿を見直さなければいけないと思っています。めだかの学校で皆様がいきいき活動されます事を願っております。だつて。ご主人のことを感じつつ、こうしてお便りをくださる。嬉しいですね。

●焼津市の平山静代(言い出しっぺで第一回の校長故平山豊メダカの奥様)。新しい年が素晴らしい1年でありますよう心よりお祈り申し上げます。お元気の事と存じます。コロナが怖くて家にいる事が多くなりました。だつて。こちらもまた、ご主人を通してのつながり、仲間として人と人とのつながり嬉しいものですね。手書きの一文一文字に温かさを感じます。ハイ。

●横浜市の山根圭二メダカ。「めだか」の学校、3月は休校ですって！？やむなし、と決断されたのです。めだかの学校、数百年歴史の中で初めての経験でござんしょう。めだか生にとってはたまに休憩しなさいの警鐘かも：ってこと。ありませんか。浜北森林公園ウオーク90分、明美さんの大声援がここまで聞こえてきまーすです。だつて。いやーまいったね。数百年の歴史だつて。まだ28年なんです

けどー(笑)

●袋井市の山中幸子メダカ。暦の上では春を迎えた。コロナ禍の中の兄の死は、たとえ老衰であろうとも面会もままならずで心残りの別れであった。今年こそはと節分にはアマビエ画と豆まきで疫病退散の願いを込めた。春とは名のみで草木は露枯れ、めだかはひきこもり、私は巣こもり、春よ来い！春よ来い！と口ずさむ！。花言葉 幸せ運ぶ「立金花」。俳句入門1年生。兼ねてより育ててみたい花、その名は立金花。バラさんの庭から頂いた。ipa dを披くと目を疑った。立金花は、なんと2月18日の誕生日、私の誕生日である。

☆花言葉は金色の花に必ず来る幸福☆。水辺や湿地に自生する：と。早速植栽して金色に輝くジュータンを想像する。数ある株の中に立金花の輝く一輪をみつけた。光に包まれたおもいで、バラさんと明美さんに思わず感謝！！幸せ運びます：。だつて。いや、今年には私たちが夫婦にきつといいことあるぞー。娘の占いでは、「今年ふたりの年回りは「いい」だつて。そう、人生前向き前向き：デスよね。

●磐田市の今村純子メダカ。いや、凄い！。超多忙？なのに油絵も始めたんだつて。展覧会にも出品とか。立春の翌日草地博昭メダカと県立農林環境専門職大学の中山先生、常民の名倉先生と袴田先生と一緒に、磐田市北部の山間部を鈴木正士メダカの案内で回るんだと。うーん。山からの素晴らしい絶景や木々の営みなどを絵にするのかな。山巡りのあとは、バラメダカも参加して磐田市大平の正士邸で正士メダカこだわりの手打ちそばでご相伴にあずかることに。：。なにはともあれ83歳の老嬢(ごめん)の挑戦は続く。同伴の草地博昭メダカ39歳の市長への挑戦も！！まさに「めだかの学校」の模範生！ナーン

チャット。

●南足柄市の溝口久メダカ。草地君、市長になると面白いですね。だつて。ご本人は、昨年8月から請われて小山町から南足柄市の企画部兼都市部参事(まちづくり担当)、教育部参事(教育施設担当)に。一級建築士でまちづくりが大好き。こちらの活躍も楽しみ。草地君にもどんでんアドバイスすよ、ね。

●浜松市引佐町の牧野久子メダカ。今年こそ明るい年になるといいですね。めだかの学校も：。無事に手術も終わりましたが、しばらくは様子(1ヶ月ぐらい)見です。じがおどっているように書きづらいです。乱筆おゆるしてください。明かりある人生を大切にしていきたい、だつて。白内障の手術良かったですね。私もやりました。ハイ。

●浜松市浜北区の松本泰榮メダカ。真っ赤な大きな鯛の絵に、ごぶさたしています。お褒りないですか、だつて。いや、おいしそうな鯛の絵。ありがとうございます。

●浜松市の白尾侑メダカ。知り合いから、面白い川柳いただきました。転送されてきたので笑ってください。だつて。◇日帰りで行ってみたい天国へ◇延命は不要と書いて医者通い◇目覚ましのベルはまだか起きて待つ◇起きたけど寝るまで特にもなし◇誕生日ロウソク吹いて立ちくらみ◇万歩計半分以上は探し物◇この頃は話しも入れ歯もかみ合わず◇留守電に「ゆっくりしゃべれ」となる父◇名が出ない(あれ)(これ)(それ)で用を足す◇探し物やっとなし◇置き忘れ◇クラス会食後は薬の説明会：まだ数回あるが省略して。いや、ある、ある、みんな同じ年頃だつたりして(笑)。私も一句「ドタドタとじいちゃんも歩く山の道」、ちよつと違うか、まあいいか。

●磐田市の田村進治メダカ。元磐田市豊岡

地区のシルバークラブの会長。奥さんと一緒に山歩き!?。浜北森林公園でバツタリ2回も。まだ来て3回目と。「バラさん。ツエつくってあげる」だって。器用でいくつかある、と。嬉しいね。一度は断つたが、やっぱりもうかなあ〜とバラメダカ。年頃でございませうれば、ハイ。

●浜松市の埋田千聡メダカ。作詩と作曲を少し、歌を歌っています。コロナ禍でライブ活動が停滞している代わりに、ふるさとの美しいロケーションを背景にしてミュージックビデオの制作を展開中。美しい音楽と共に「え?! これはどこ?! ステキ!!」と思っただけのような動画は『和の奏うたら』で発信中、だって。グループLINEの導入もいいね、と。そうだね。私もLINEやつてるけど埋ちゃん入っていないな。

●浜松市の中村明男メダカ。薄い青色基調の2本の木と牧場。茶色の牛2頭が散歩の版画。今年こそ、明るい年に、限りある人生。今を大事に、夢中になれるもの、楽しく一歩前に! だって。ぼやくとした雰囲気いいね。

●静岡市の鈴木芳徳元メダカ。どんな景色やできごと、よく見て、よく考えて、ゆっくりでも、しっかりと歩く。よい年になりましように。静岡市民文化会館の市民劇もコロナでお休み中、みんなのモチベーション維持に工夫を続ける毎日です、だって。市民俳優のミュージカル劇なの?。元静岡新聞・静岡放送の記者で植物や昆虫などの観察、環境活動にも強い。ひとを見る目も確かだね。

### 《新人生予定者紹介》

●三島市の野村諒子さん。三島市議でコミュニティスペース・ジモットの代表。「居場所と出番のある地域づくりを!」、県内

の女性議員と連携を取りながら頑張っている。女性議員がもっともっと増えるといいですね。

●三島市の鈴木琢真さん。めだかの学校の案内ありがとう。武史さん(故鈴木武史メダカ)や、皆さんのお顔を思い出し、改めて掛川支局(静岡新聞)時代にお世話に感謝、だって。現在は三島市でビルの管理の仕事をしている。一児の父です。ハイ。

もっともっと多くの人を掲載したかったのですが、今回は紙面の都合でこれまで。次回はあなたの番ですよ。お便りを!

※お知らせ

今回の『めだか春秋』は都合によりお休み。めだか春秋はリレー形式で。次回112回は、秋田の奈良努メダカ。

### ■事務局だより

立春もすぎ、日射はまさに春の日射し。でも北陸や東北、北海道などでは雪の予報も。冬と春とが押し合っているこの季節、病いを友としている人たちにとっては身体を維持するのは大変、それにコロナも。でも気持ちを前に、コロナと戦っている皆様に感謝しつつ。『歩、歩、歩、わたしは元気、』とどんどん行こう!』です。

さて、第110回めだかの学校は12月6日土曜日、めだかの学校が始まって以来、初めての昼間の通常授業、給食も取寄せ。コロナの感染の拡大もあって、コロナ対策も万全を期して。校長水島加寿代、教頭竹野昇、用務員白



尾恂(まこと)。どんな授業に、楽しみでもあった。出席者は当初予定者も含んで44名だったが体調が悪かったりと、最終出席者は33名。半年ぶりの出会い、マスクをつけて。:

さあ、めだかの便りの授業内容を:「あれ、校長訓話:、なんだっけ?」「先生の話しは?」全然思い出せない。たった2ヶ月ほどほどののに:、恥かしいことながら水島校長先生に手紙した。いや、しっかりと要点をまとめてFAXしてくれた。これで最後の原稿「事務局だより」が書ける。2月7日のことである。発行日は2月1日、ごめん!デス。

第110回めだかの学校、竹野昇教頭の進行で、ちよつと遅れて始まる。竹野教頭、きつちりやる人だけにキツチリ進める。水島校長の訓話『シンガーソングライターでメダカの仲間も多い高橋忠史さんのCDを流しながら、今彼は難病に立ち向かいながら自分の音楽を諦めずに、毎日ブログを更新している。私は彼の「時は流れて人は生きている」という曲が大好き。「人が生きる」ということをじっくり考えさせてくれる。このコロナ禍にふと自分を見つめ直したとき、それまでの自分が固定観念にがんじがらめになったことに気づいた。ぼーっとしてみると新たな発見があることを知ることができた。できないことに悩むのではなく、これからは「わくわくできること」に注力して生きていきたい」と。事務局からは第109回の休校と宿題提出、その4頁特集号を発行したこと、好評だったことを

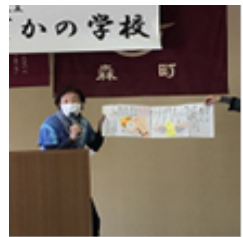


説明。

授業は、1時間目、芦川和美先生。『コロナで生活が一新、家族との会話がが増えて絆が濃くなった。高校生の息子が食事を作ってくれる。今できることを自分で考え、もう1度見直す時期では。1日に感謝して!マイナスの発言はマイナスオーラになってしまふ。笑顔で相手を認め合うことが大切。:コロナだからやめる、ではなく、このときだからこそ気づかせてくれたことも。「念」とは今心をおくと書く。心の在り方をもう一度見直す時期では。『市議会議員はやりがいがある』など思いを語る。

2時間目は富田久美子先生。『子育て支援、気が休まる日はないけれど:。絵本「だいすき ぎゅつ ぎゅつ」を朗読。子どもたちと日々、だいすき、ぎゅつとすることを一番大事にしている。磐田龍の子幼稚園に勤務しながら40周年の記念誌も作成。2月から振り返ると一日も休まず園を開いてきた。どうなるか不安ばかりだったが、「先生助けて」という電話もあり、利用者があってもなくても開いていくことに決めた。ママたちにメッセージを書いてもらったり:。8月には園に通うママたちが10人以上出産したなど、安心できる基地があつてこそ子育てができる。支援室を開いていて良かった」と。

3時間目は間瀬亮太メダカ。『ミニバス指導&仕事でハードな日々。めだかである学ばせてもらった。めだかの便りを初めて自分が作ったのは第58号から、110回で52回、今は楽しんでる。(本当にお手数かけています。ありがとう!とバラメダカ)。8面へ続く。



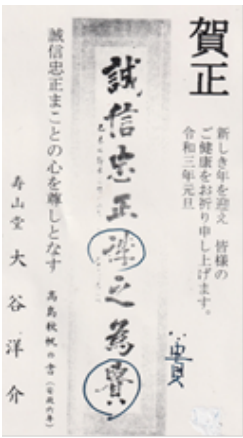


### ■うんわからない…どんな字だ?!

浜松市の大谷洋介メダカからの年賀状を「めだかの学校便り」に載せようと、掛軸の写真の文字『誠信忠正〇之為〇』。〇の部分の文字が分からない。訳は「誠信忠正まことの心を尊しとなす」高島秋帆の書(安政六年)。

掛軸の持ち主の大谷メダカに電話すると、「今は車だから家に帰ってから電話する」帰宅したのち電話でキヤッチボール。「誠信忠正はいけれど、次の文字は?」「まこと」「いちばん上の誠と同じなの?」「そう」「下の字は貴?」「たつとし、それぞれ4字熟語がある?」「うん、どうみても…。スマートホンや分厚い広辞苑で、高島秋帆はどんな人物かと調べたら幕末の兵学者・破術家で、2月14日からNHK大河ドラマ「青天を衝け」の澁沢栄一にも影響を与えた人物とか。掛軸のところは分からず。豊岡東交流センターの事務員さんにパソコンで色々な角度から調べてもらおう。いくつかの掛軸展示物からも見てもらったがない。それもそうだね、掛軸は寿山堂大谷洋介メダカの手元にあるのだから…。マイッタね。(笑) みなさん教えて!

(ハラメダカ)



(事務局だよりの続き)

浜松市で旅行代理店の仕事をしている。コロナ&GOTOに翻弄された。コロナ以前は家にいることもなかったが、コロナで家にいるようになり、庭にバーベキューコンロを持ち込んで今までできなかったこともやっている。小学生のミニバス指導も充実。バスケの専任審判員の資格もとった。旅行代理店の仕事は不安はあるが、やれることを工夫してやっていきたい」と

いや、3者3様、校長先生もみな前向きで遅く頼母しい。めだかの学校もこれからも健康で回を重ねていくことだろう。つくづく思う。水野忠義メダカの200回も夢ではないかも、マイッタね。(笑)。つづいて事務局から私語飲食全て禁止の次回三役発表。第111回めだかの学校は3月6日(土)、次回も昼間に開校。校長村田徳治、教頭加藤ひとみ、用務員村松康博。よろしくお願いします。コロナが少しつつ収まり、開校できるのを祈りつつ…。

第111回めだかの学校の職員会議を1月9日(土)午前11時半から学舎で開く。職員会議を昼間でやるのは開校以来はじめて。

出席は石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、服部守孝メダカ、榊原淑友メダカ、鈴木真弓メダカ、水村春江メダカ、榊原幸雄メダカ、その他8人のメダカは欠席。三役の教頭加藤ひとみは体調悪く、また用務員の村松康博メダカは用事で欠席。校長の村田徳治メダカは13時頃になるとのこと。舎監の榊原淑友メダカが頼んでくれたお弁当が届いたのでコロナの感染に注意しながらいたたく。いや、すこい!。新年にふさわしい色彩やかな美味しいお弁当だった。さすが舎監。食事のあと今回のテーマと授業など話し合っていると、「私は辞退します」との発言。何のことかと話を聞けば、

地元の自治会や

いろいろの会が中止している。めだかの学校だけ開くというのは…。地元を慮っての意見。めだか生の中にもぜひ開校して欲しいの意見も多々あるが、思案の末「休校」をきめる。「前回の時のように『宿題』をだしたら…」の意見もあって「休校・宿題」で決定する。遅れてきた村田徳治校長にその旨伝える。「…なら、100回の時に製作したホームページを手直ししてブログやインターネットを利用し方法も検討しよう」ということになった。



1月28日に村田徳治メダカとホームページの件で話し合う。まずはホームページの手直しからと、100回以降の便りと写真をもっていく。内容は改めて詰めることに。

いよいよ「めだかの便り」に手をつける。コロナ禍の中、いただいた年賀状の中から抜き出して「人ひと便り」に…。第111回は休校だから、人ひと便りを多くしよう。…と、なんと8頁ぐらいに膨らんでしまった。またやってしまった。フアックスもコピーも調子がわるい!。いや、マイッタ!…苦闘が続く。校長訓話以外原稿が届かず、心配した間瀬亮太メダカから電話。ごめん。ノートに年賀状から写し取り、コメントをつけて、原稿用紙に整理して…ついに下を向きすぎて目まいを起こすありさま…;ごさいました、ハイ。

(事務局 ハラメダカ)

### ■「めんなさい、大幅に遅れて!」

今回は以上の理由で特に遅れてしまい

ました。ご協力いただきました石野省三メダカ、田村進治メダカ、伊藤英雄メダカ、水島加寿代メダカ、大島たまよメダカ、草地球昭メダカ、本島慎一郎メダカ、鈴木正士メダカ、まとめて下さる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さんありがとうございました!。感謝!

### ■第28期の受付をしています。

第28期は、令和2年9月1日から令和3年8月31日までです。毎年度手続きが必要ですが、継続手続きがまだの生徒には再度申込書を同封します。至急提出をお願いします。未提出の生徒は今回をもって名簿からはずれ、自主退学扱いとなり。ご注意ください。新しく入校を希望される方がいましたら事務局までご連絡ください。申込書と資料をおくりします。

### ■めだかの学校だよりの原稿を!

次回の発行は、令和3年5月1日予定。締切4月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙かフアックスで。待っています。メールの方は、

《mabuchi-trd@yr.tnc.ne.jp》  
間瀬亮太090・5009・0986です。  
(メールの方は割付の関係もあるので「一報を。')

### ■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5  
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05  
39・62・6691 (FAX同じ)  
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一  
宮3150。電話 0538・89・77  
30 開校日の午後4時以降のみ使用可。  
携帯 080・1612・9130

